

[公財] いわて産業振興センター広報誌

産業情報

Industry Information Iwate

いわて

Vol. 227 / 2024
2・3

★キラリ輝く★
★岩手の企業★

盛岡市 株式会社やよいディライト

寝具のリフォームを通して 新時代の価値を創造する



各部事業紹介…6・7

賛助会員制度のご案内…8

ILC current topics…9



キラリ輝く
岩手の企業



寝具のリフォームを通して 新時代の価値を創造する

「想いを繋ぐ」をモットーに、寝具のリフォーム事業を展開する株式会社やよいディライト。SDGsなど社会課題の解決にも取り組む中、県内企業との共同から生まれたダウンジャケット「IWATEDOWN」が大きな話題を呼んでいる。新事業へ込めた想いや展望を、青野恵司代表取締役役に伺った。

盛岡市 株式会社やよいディライト



寝具に刻まれた「思い」を形にするリフォーム事業

かつて日本には、婚礼や就職など人生の様々な節目で布団を贈る習慣があった。社会や住環境の変化により今ではほとんど行われなくなったが、そんな思い出の宿る寝具のリフォームを通し、「エシカル

消費」「SDGs」「COOL CHOICE」といった新たな価値を生み出している企業が、盛岡市にある「株式会社やよいディライト」だ。

「ウレタンやポリエステルなど廃棄を前提に作られる化繊の布団と違い、昔の綿ふとんや羽毛布団は大事な『資源』。打ち直しや洗浄を行うことで布団に込められたお客

様の『思い』を形にし、さらには廃棄物を減らしていくのが当社の理念です。

明確なビジョンを掲げ、事業を推進してきた青野恵司代表取締役。現在は綿ふとん打ち直しや羽毛ふとんリフォームに加え、睡眠にフォーカスしたオリジナルマットレスや枕シリーズ「やよいメディ

- 1 県産羽毛を使用し、県内縫製メーカーと作り上げた「IWATEDOWN」。デザイン性とアート要素を取り入れた高品質なダウンジャケットである。
- 2 天然繊維である綿は貴重な資源。同社では熟練のスタッフが一枚一枚手作業で綿入れを行い、品質検査を行なったのち依頼者の手元に届ける。
- 3 羽毛ふとんは山梨の工場で、南アルプスの天然水で洗剤を使わずに洗浄。軟水のミネラル分を含んだ羽毛はボリュームがよみがえる。
- 4 オリジナル枕を作るため、頭部形状モデリング測定を行う。同社では実際の寝姿勢で仰向け、横向きを3Dスキャン。より細かなデータを得ることができる。



カル」の開発、さらにはリサイクル羽毛を使用した災害用寝具「tsumugi」の開発・提供など、健康や社会問題に貢献する分野へと事業を拡大させている。

寝具からアパレルへの進出 オール岩手のダウンジャケット

寝具のリフォームや製造を通し、さまざまな社会課題に取り組んできた同社。中でもモノの大量生産・消費に対するアンチテーゼといえる

新事業が「IWATEDOWN」。県産羽毛を使い、県内縫製メーカーや岩手ゆかりのアーティストとコラボした、徹底して岩手県にこだわったダウンジャケットを作り上げた。

そのきっかけについて、経営戦略部マネージャーの重泉愛さんは「アパレル業界にも寝具業界と同様、大量生産と廃棄の問題があった」と振り返る。開発は国産ダウンの確保や選別など困難の連続だったが、2021年10月には第一弾を発表。「エシカルを着る」というコンセプト

のもと、原材料から縫製まで顔の見えるものづくりを謳った商品は反響を呼んだ。さらに2023年10月には株式会社ヘラルボニー（盛岡市）とコラボし、アート志向の強いラインも誕生している。

社会課題の解決を目指し、地球環境を守るアクション

新事業「IWATEDOWN」の発表は当センターの「いわて希望応援ファンド」を活用し、ブランドムー

詳細は5ページ [この事業を活用しました](#)

ビーやコンセプトブック、サイト構築を実現。「岩手」「ダウン」のトップ検索にその名が表示されるなど着実な効果を上げている。またDX関係のセミナーにも積極的に参加、「全

● 詳細は5ページ **この事業を活用しました**

員が顧客カルテの情報を共有できるようになった」と常務取締役の戸田直樹さんは話す。

人口減社会に突入した現代。「もはや寝具から寝具へのリサイクルでは廃棄になってしまう」と青野社長は危惧する。「IWATEDOWN」をはそんな現状を超えていく一手であるが、さらに同社では、新たなリサイクル事業も進行中である。

「なんとなくモノを買うのではなく、これからは価値や意味を考える時代になっていくだろう」

青野社長は、その先の社会をしっかりと思慮していた。



5 羽毛のリフォーム工程。まずは36℃に温めた天然水で洗浄と脱水を二回繰り返す。事前のオゾン加工との相乗効果で羽毛がよみがえる。
6 あらかじめ選んだ側地を手作業で縫製。
7 羽毛を充填したのち、依頼者の元に届けられる。



代表メッセージ 代表取締役社長 **青野 恵司** 氏

会社を立ち上げた20年前はよく「布団の打ち直しなんて必要？」と言われてました。しかし時代は変化し、今はリフォームやリサイクルの価値が理解されるようになりました。しかし、寝具の絶対的枚数が少なくなっていく中ではリサイクルの先の新製品開発を目指す必要があります。「IWATEDOWN」はその一つですが、更なるリサイクル製品を開発し新たな価値を提案しながら、モノに込められた「想い」をつなげていければと思います。

代表 Profile 1980年埼玉県生まれ。中学時代を岩手で過ごし、高校卒業後寝具メーカーに就職し東北エリアのセールスを担当する中で、布団リフォームの可能性に気づく。2004年に「やよいliving」を立ち上げ、2008年業務拡大とともに「やよいディライト」として法人化した。

企業データ

会社名 株式会社 やよいディライト
本社 岩手県盛岡市東北北2丁目14-28
電話 019-681-7878
代表者 青野 恵司
従業員 15名
業種 寝具等製造販売
URL <https://yayoi-living.jp>

沿革

- 2004 やよいlivingを立ち上げ
- 2008 業務拡大に伴い、やよいディライトとして法人化
- 2016 オーダーメイド枕サービス開始に伴い、イオン前沢店にテナント開設
- 2017 日本寝具寝装品協会加盟（2022年現在、北東北で唯一の加盟企業）
- 2018 オーダーメイド枕サービス向上のため北東北で初となる寝姿勢測定用3Dスキャナーを導入
- 2021 災害用寝具の製造開始し、岩手県大槌町と宮城県名取市にそれぞれ寄贈
- 2021 新事業としてダウンジャケットを製造、販売開始



山梨県に自社工場を有する同社。羽毛布団は天然水洗浄にこだわり、羽毛のポテンシャルを生かした製品にリフォームしている。綿布団の打ち直しも熟練の職人による作業で、天然繊維の良さを生かした製品に生まれ変わる。顧客カウンセリングにも力を入れており、睡眠健康指導士や睡眠環境・寝具指導士など専門知識を持つスタッフを配置。くるむオリジナルmy枕、やよいメディカル、オーダーメイド羽毛布団など独自開発商品もある。さらにリサイクル羽毛を使用した災害用寝具tsumugiも制作、能登半島地震被災地にも提供した。



8 カウンセリングを重視する会社では、睡眠健康指導士や睡眠環境・寝具指導士、オーガニックコットン販売士など様々な専門スキルを持つスタッフが対応する。
9 東日本大震災を教訓にスタートした災害用寝具の開発から誕生した「tsumugi」には、リサイクル羽毛を使用。1月に発生した能登半島地震でも現地へ20セットが提供されている。

この事業を活用しました

● **いわて希望応援ファンド地域活性化支援事業**

国の機関や県、金融機関からの出捐により、「いわて希望応援ファンド」を造成し、その運用収入を主な財源として、県内企業が行う新商品の開発や販路開拓などの新たな取り組みに助成金を交付します。令和5年度は21事業者に交付決定となりました。令和6年度の公募開始は4月頃を予定しております。ご検討される方はお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ 産業支援部 地域産業担当 019-631-3823



● **当センターが開催しているセミナー等について**



お問い合わせ 総務金融部 019-631-3820

いわて産業振興センターでは様々な事業者様に向けたセミナーを開催しております。下記は令和5年度開催したセミナーの一例です。令和6年度も事業に役立つセミナーを開催しますので皆様のご参加をお待ちしております。

自動車関連(令和5年12月開催)

「キラリと光る自社の技術で拓く次世代自動車部品製造」
医療関連(令和6年1月開催)

「医療機器参入支援セミナー～医療機器の基本の“キ”～」
半導体関連(令和5年9月開催)

「SEAJ推奨安全教育セミナー」
縫製・食品製造業(令和5年12月開催)

「縫製業・食品製造業向けKintoneハンズオンセミナー」

とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会の開催

1月25～26日の2日間、トヨタグループをはじめとする東海地方の自動車関連企業に向けて優れた技術力を提案する「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」がトヨタ自動車本社で開催されました。

東北6県・新潟県・北海道から84企業・団体(うち岩手から18社・団体)が出展し、新規取引拡大に向けて各社が独自技術のPRを図りました。

また、特別展示エリアでは、「CASE」と呼ばれる次世代モビリティに関する技術が多数出展されており、未来のモビリティ社会実現に向けた技術の商談も活発に行われました。

当センターでは今回の商談をフォローアップするとともに、今後も取引支援を進めていきます。



■お問い合わせ

取引支援・産業集積担当 TEL:019-631-3822

半導体業界動向セミナー開催 のご案内

いわて半導体関連産業集積促進協議会(I-SEP)では、会員企業の取引拡大・交流促進等を目的として半導体業界に精通した専門家等を招き、最新の半導体業界・施策動向等に関するセミナーを開催いたします。

半導体メーカーによる講演や多品種少量生産が可能なミニマルファブのご紹介も予定しておりますので、ご参加をお願いいたします。

開催日時:令和6年3月14日(木)

会場:ホテルシティプラザ北上 萬葉の間

- 講演①:「2024年から始まる半導体市場急拡大のシナリオ」
講師 インフォマインテリジェンス合同会社 南川 明氏
講演②:「マイクロン企業紹介/国内半導体ビジネス拡大について」
講師 マイクロンメモリジャパン株式会社 秋山 裕明氏
講演③:「ミニマルファブで切り開く、新たな半導体教育の可能性」
講師 横河ソリューションサービス株式会社 長竹 桃子氏
申込方法:当センターHPよりお申込みください。

■お問い合わせ

取引支援・産業集積担当 TEL:019-631-3822

IWATE FOOD&CRAFT AWARD2023入賞商品販売会 の開催

今年度の「IWATE FOOD&CRAFT AWARD 2023」入賞商品の、販路開拓・拡大を支援するため、岩手県内のアンテナショップ等において本年1月に、販売会を開催しました。

本県を代表する新たな特産品として選出された商品を、実際に手に取って確認しながら購入する姿も多くみられ、魅力あふれる新たな商品を知ってもらう機会となりました。今後は、県内外の見本市・物産展等への出展支援も予定しており、岩手の特産品として県内外の多くの方に知っていただけるよう、販路開拓・拡大をサポートするための事業を進めていきます。



■お問い合わせ

地域産業担当 TEL:019-631-3823

「展示会(SMTS)成果UPのための 考え方」セミナーの開催

本年2月14日から16日まで開催された、「スーパーマーケット・トレードショー2024」へ岩手県ブースを設けるにあたり、出展者の販売力アップを目的とした事前講習セミナーを令和5年11月27日に開催しました。

展示会の目的や、目的達成に向けた準備、成果を上げるためのアイテム等について、岩手県よろず支援拠点のコーディネーターも務める株式会社みちのくプランニング代表取締役 藤井登氏に講演いただきました。

参加者からは、出展前に来場者を知ることの重要性について理解が深まった、バイヤーの業種ごとに資料を作成する必要がある、など新たな発見があったという声もありました。

当センターでは展示会への共同出店等食品加工産業の販路拡大を支援していますので関心のある事業者様はお気軽にご相談下さい。



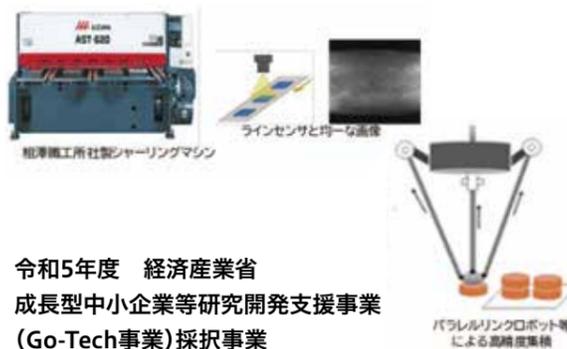
■お問い合わせ

地域産業担当 TEL:019-631-3823

研究開発支援のご案内

産学連携室では、県内企業の技術開発等を促進することを目的に、大学等研究機関の研究シーズを活用した、産学共同研究のマッチング、競争的研究開発資金獲得、研究開発事業の管理・運営、事業化などの各種支援業務を行っています。

国や県等では、例年2月頃より競争的研究開発事業の公募を開始します。事業申請をご検討されている企業様はお早めにご相談、お問い合わせください。



令和5年度 経済産業省
成長型中小企業等研究開発支援事業
(Go-Tech事業)採択事業
『環境対応型・次世代シャーリングシステムユニットの研究開発』

■お問い合わせ

産学連携室 TEL:019-631-3825

製造業におけるデジタル化導入 人材育成講座の開催

県内ものづくり企業とITベンダーが、これからデジタル化に取り組む企業を見学し、お互いに意見を出し合いながらデジタル技術を活用した課題解決の提案書を作成・同企業にプレゼンする「製造業におけるデジタル化技術導入講座」(全8回)を開催しました。ものづくり企業は自社の課題にデジタル技術を活用するノウハウを、ITベンダーはものづくり企業の課題を正しく把握し、ソリューションを提案するノウハウを学べます。自社にデジタル人材を育成したい企業様はお気軽にご相談ください。



■お問い合わせ

産学連携室 TEL:019-631-3825

「中堅管理者 (後継者養成講座基礎)」のご案内

企業が繁栄・存続していくためには、トップを支える『人財』の養成が不可欠であり、当センターでは令和6年度中堅管理者講座を開催します。

本講座では、『人財』に要求される下記のテーマを、実習と体験学習を主体に体系的に習得いただきます。

■テーマ

- ①経営理念・戦略 ②経営計数の理解
- ③リーダーシップと部下育成

■参加者の声

- ◇事例をふまえた実践により、取り組みやすかった。
- ◇部下の指導に役立てたい。
- ◇人を活かす立場にいる方々と、普段の悩み・苦勞について話し合う機会があり、参考になった。

■日程:第1講:5/14-15、第2講:6/11-12、第3講:7/10-11

■会場:公益財団法人いわて産業振興センター 会議室(予定)

申込期間などの詳細は下記URLをご確認ください。
<https://www.joho-iwate.or.jp/kenshu>

■お問い合わせ

産業人材育成担当 TEL:019-631-3824

「プロフェッショナル人材 戦略拠点」のご案内

～求めている人材の採用を支援します!～

当センターでは専門的な経験を有する人材とのマッチングを支援する「プロフェッショナル人材戦略拠点」事業を実施しています。

当センターから一度に52の人材紹介会社に求人情報を提供しますので、多くの求職者にアピールできるメリットがあります。

何度面接しても、納得いく人材を決定するまで、経費は発生しません。(ただし、人材を採用する際には、費用が発生いたします。)

また、中途採用以外に、人材を雇用するのではなく、一定期間業務を委託する「副業・兼業」人材を紹介する支援も行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

詳細は下記URLをご確認ください。
<https://www.joho-iwate.or.jp/prof>

■お問い合わせ

産業人材育成担当 TEL:019-631-3828

令和6年度

農商工連携募集

いわて希望応援ファンド(農商工連携型)地域活性化支援事業

本県における農業と商工業の連携による創業・起業者又は県内中小企業等による新商品の開発や販路開拓などの新たな取組に対して助成金を交付いたします。取組を検討されている方は、お問い合わせください。

助成事業の概要

助成率 **3/4**
助成額 **300万**

対象 県内中小企業者と県内農林漁業者との連携体
または県内NPO法人と県内農林漁業者との連携体

条件等 農商工連携により下記活動に取組、経営の革新に関する事業であること。
・新商品開発または
・生産・需要拡大 または
・提供・需要拡大

実施スケジュール

※令和5年度の例。令和6年度は変更する場合があります



お問い合わせ先 産業支援部 地域産業担当 TEL 019-631-3823 URL <https://www.joho-iwate.or.jp/fund>

ILC current topics

岩手県ILC推進協議会からのお知らせ

ILC実現建設地域期成同盟会講演会を開催



令和5年12月6日、一関市を会場にILC実現建設地域期成同盟会講演会が開催されました。はじめに、佐藤善仁共同代表（一関市長）から「ILC計画の意義や現状を一人一人理解して、スポークスマンとして周囲の皆さんに伝え、実現に一步一步近づきたい」との挨拶の後、塩谷立ILC国会議連会長、鈴木俊一同副会長、小野寺五典同副会長から「継続的で熱意ある支援に感謝するとともに、実現に向けて共闘したい」などのメッセージが読み上げられ、達増知事から来賓挨拶（県南広域振興局長代読）の後、次の二人からの講話がありました。

笹川平和財団理事長で科学産業技術政策論などを専門とする角南篤氏は、「大きな軍事力や天然資源を持たない日本は、科学技術を大きな資産として世界の尊敬を集めてきたが、存在感を見せられない状況が続いている」「米国は、同盟国の日本に造ってもらい、支援したいと考えてい

る」と説明。「次世代を担う若者たちが『科学をやって良かった』という、わくわくするような大きなプロジェクトが必要」とであり、「地域社会として意義を理解し、国民の理解を得て、最後は政治が決める」と述べました。

高エネルギー加速器研究機構教授で国際推進チーム（IDT）技術部門のリーダーでもある道園真一郎氏は、「ILCは建設に向け加速器の高度化、特に時間のかかる重要な技術課題に取り組む段階にあり、世界が共同するILCテクノロジーネットワークで完成度を高めていく」「ILCの目的は基礎科学の進展と、多様な波及効果という二つの柱があると訴えていくことが重要」と述べました。

※当topicsは本号を持って終了となります。今後ともILCの建設実現に対するご理解とご協力をお願いいたします。

【公財】いわて産業振興センター広報誌

産業情報 L I W A T E

発行／公益財団法人 いわて産業振興センター

〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター 1F・2F)
[TEL]019-631-3820 [E-mail]joho@joho-iwate.or.jp
[URL] <https://www.joho-iwate.or.jp/>

発行日／令和6年2月26日 ■編集印刷／川嶋印刷株式会社



この冊子は地球にやさしいベジタブルオイルインキを使用しています。